



すぎなみ 教育報



No.193

平成21年6月30日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692

新泉小

和泉小

和泉中

小学校全学年で、中学校への連続的な学びを意識した英語の授業を行っています。



連続した学びの基礎—読書・調べ学習の充実のため、自校以外の2校や、近隣高校の図書館の利用も可能になりました。

相互理解を深めるため、3校の教員が合同で研究会を行っています。



新泉・和泉
小中一貫教育

杉並区でいち早く平成17年度から小中一貫教育研究に取り組んでいる3校。現在は第二ステージとして小中の「連続性」のあるカリキュラムの開発に取り組んでいます。「6」と「3」がしっかりと固結びになったシンボルマークは小中一貫教育の姿そのままを明解に表しています。

小中一貫教育を進めています

杉並第四小

高円寺中



5・6年生は週1回、登校から下校まで高円寺中学校で学習・生活を行っています。

5・6年生に対し、中学校教員の専門性を生かした授業を行っています。(写真は算数の授業)



みんなで力を合わせて。昨年度行われた、図工・美術での小中合同授業の様子です。

杉四小・高円寺中は「(小中の)ゆるやかな接続」がテーマ。押し付けではなく自然と子どもたち、学習がつながっていくような工夫を凝らしています。



杉四小6年生と高円寺中3年生の共同制作壁画(写真)はそんな杉四小と高円寺中の「接続」の象徴です。

「杉並区小中一貫教育基本方針」(案)に皆様の声をお待ちしています

教育委員会は、児童・生徒の確かな学力と生きる力をはぐくむため、小学校と中学校の9年間にわたって連続性のある教育に取り組んでいます。平成17年度から新泉小・和泉小・和泉中で、平成19年度から杉並第四小・高円寺中で先行実施し、学力の向上や小・中学校の円滑な接続等に成果をあげています。

これまでの先行実施校での成果等を踏まえ、「杉並区小中一貫教育基本方針」を策定することにしました。このたび、方針の案ができましたので、「広報すぎなみ」6月21日号で概要をお知らせするとともに、「杉並区自治基本条例」に基づく区民等の意見提出手続により、皆さんのご意見を募集しています。一問い合わせは、教育改革推進課へ

ご意見をお寄せください

方針案の全文は、区ホームページ及び教育委員会ホームページのほか、閲覧場所でご覧になれます。

【閲覧場所】教育改革推進課(区役所東棟6階)、区政資料室(区役所西棟2階)、区民事務所・分室、駅前事務所、図書館

【開設期間】6月21日(日)～7月11日(土)

①ハガキ、封書、ファックス、Eメールまたは閲覧場所にある意見用紙に書いて、7月11日(土)までに教育改革推進課へ。

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 FAX:03-5307-0692 メールアドレス: kyoiku-kaikaku@city.suginami.lg.jp

② ご意見には、住所・氏名(在勤の方は勤務先の名称と所在地、在学の方は学校名と所在地)、事業者の方は事業所の名称と所在地、代表者の氏名をご記入ください。

③ 区ホームページの電子掲示板に、ご意見を書き込むこともできます。

※お寄せいただいたご意見の概要とそれに対する教育委員会の考え方などは、10月に「広報すぎなみ」などで公表する予定です。

ペン知る



親子でも!子ども同士でも! さいえんす・タイムは大にぎわい～杉並区立科学館

毎週水曜日、科学のびっくり、ふしぎに出会える「さいえんす・タイム」はいつも大人気。科学実験・観察・ものづくりなど、ほんの少しの時間でできるのに、どれもとても楽しくて、子どもたちやお母さんの笑顔が絶えません。午後3時からですが、遅れてきても大丈夫。指導員さんがいつでも初めから作り方・やり方を教えてくれます(午後4時30分まで)。7月の予定は次のとおり。7月1日:お天気風鈴 7月8日:指もんをとろう 7月15日:海そうのしおり「これって何をやるの?」と思ったら、科学館に電話してみてくださいね。(参加に事前申込はいりません) ※8月はお休みです。9月2日から再開します。 問合せ:杉並区立科学館 ☎3396-4391

開校1年を迎えて

天沼小学校の統合に関するアンケート調査を実施しました

杉並第五小学校と若杉小学校の統合により、昨年4月に天沼小学校が開校し1年が経過しました。そこで、統合後1年間の児童の様子や教育活動の状況等を調査・把握するため本年3月にアンケート調査を実施しました。

寄せられた回答の多くは、学校統合により児童数が増え、一定規模の学校となったことに対する環境の変化を肯定的に受け止める声が多かったのですが、一方で、今後改善すべき点、考慮すべき点について

のご意見もいただきました。

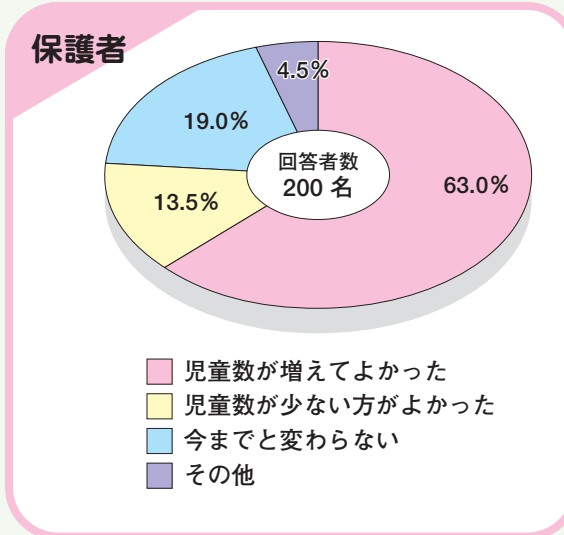
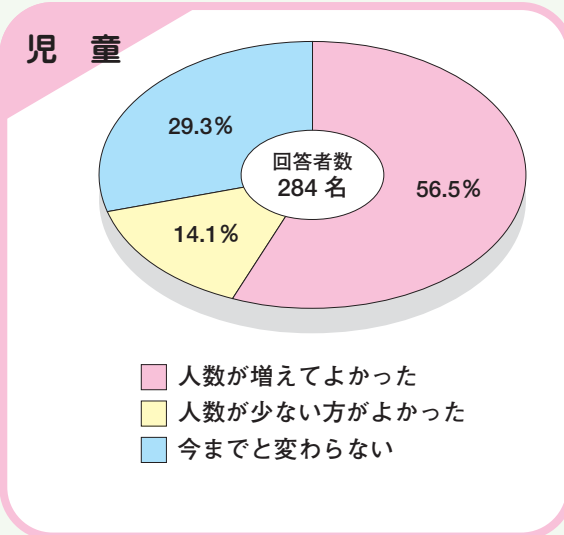
今回のアンケートを通じて寄せられたご意見につきましては、今後の学校運営に生かしていくとともに、学校の適正配置にも活用してまいります。

調査結果の詳細につきましては、教育委員会ホームページに掲載しているほか、教育改革推進課、及び区政資料室（区役所西棟2階）でもご覧になれます。

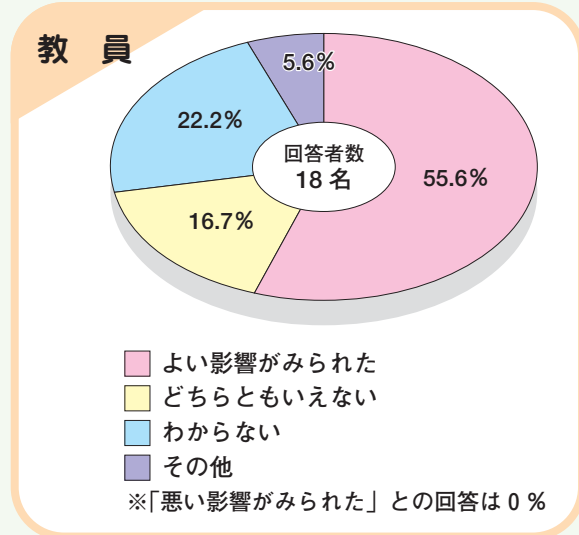
問合せ：教育改革推進課学校適正配置担当

アンケート集計結果（抜粋）

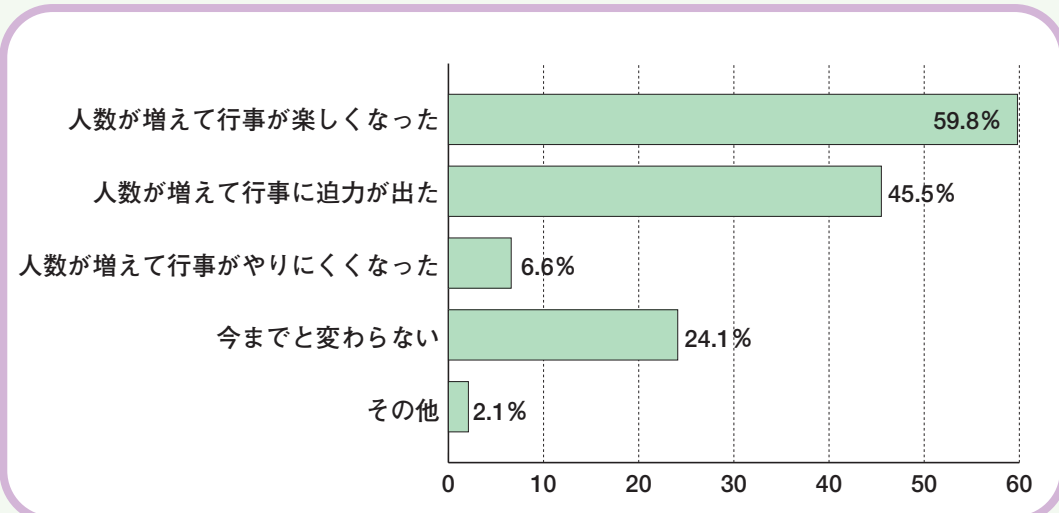
● 統合して児童数（学級数）が増えたことについて



● 学級数が増えたことによる児童の人間関係の変化について



● 行事の変化について（児童アンケートより）



● 保護者の主な自由意見（要旨）

- 色々な人と接することができてよかった。
- 他のクラスの友達とも遊べて楽しそう。
- 統合1年目で行事が多かったため、バタバタした印象であった。
- 1クラスあたりの人数が増えたので、先生の目が行き届くか不安である。
- 高学年は人数が多い方がよいが、低学年では少人数の方がよいと思う。

杉並区特別支援教育推進計画を策定しました

幼児・児童・生徒一人一人の教育ニーズに応じた、質の高い教育の実現を目指すため、杉並区特別支援教育推進計画（平成21・22年度）を策定しました。推進計画は特別支援教育への「3つの視点」と、それに基づく「7つの推進プラン」からなるものです。今後はこの計画の具体化に向け、検討委員会を設置し、検討していきます。

全文は教育委員会ホームページでご覧いただけます。

特別支援教育推進のための3つの視点

視点1

就学前から学校教育の期間を通して一貫した支援体制をつくります

視点2

一人一人の教育ニーズに応じた適切な支援を充実します

視点3

特別支援教育についての理解をすべての人に広げます

3つの視点を具体化する7つの推進プラン

- 推進プラン1 継続した支援体制の構築
- 推進プラン2 個別の教育支援計画・個別指導計画の策定・活用
- 推進プラン3 わかりやすい就学相談体制の確立及び相談機能等の強化
- 推進プラン4 校内体制の充実
- 推進プラン5 多様な教育環境の整備
- 推進プラン6 個別的な学習支援・介助支援等の充実
- 推進プラン7 理解啓発の推進

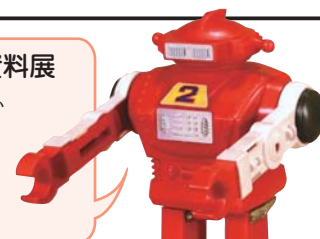
問合せ：済美教育センター特別支援教育担当 ☎ 3311-0021（代表）

● 知る

ミンナデミニキテネ！「遊びの道具～杉並の子どもたちのまわりにあった昔のおもちゃ」郷土博物館本館収蔵資料展

区民の方からご寄贈いただいた昔のおもちゃを、この夏、郷土博物館で展示します。はじめてみるおもちゃや、懐かしいおもちゃたちと、親子でひとときの出会いを楽しみませんか？昔の遊びなどに関する行事も予定しています！詳しくは博物館ホームページをご覧ください。

会期：7月25日（土）～9月27日（日） 午前9時から午後5時（休館日は毎週月曜日、毎月第3木曜日）
観覧料：100円（中学生以下は無料） 問合せ：郷土博物館 大宮1-20-8 ☎ 3317-0841



子どもと子ども、子どもと大人、大人と大人 「やりとり」していますか？

第10期社会教育委員の会議報告書

～「やりとりの復活」が紡ぎだす新しい公共空間～



■ 今なぜ「やりとりの復活」なのか？

社会教育委員は、公募の区民、小・中学校長、学識経験者で構成され、2年の任期中に社会教育を取り巻く課題について、様々な角度から調査・検討を行います。5月に任期を終えた社会教育委員がテーマとして選んだのは、人と人の「やりとりの復活」でした。

普段の生活の中で、人と人との間のやり取りが、かつてに比べて決定的に不足し、かつその質も大きく変容しつつある。その結果、とりわけ子ども・若者を中心に、人間関係がやせ細ってしまっている。世代間における連帯感もまた、急激に薄らいでいる。そういう現状認識を委員が共有した結果である。(報告書から)

■ 100人参加のワークショップ

社会教育委員が、生の感覚で現状を捉えようと取り組んだのが、社会教育に携わる職員など、延100人に及ぶ参加者を得たワークショップでした。自らの体験や、見聞きしたことを列挙し、それらをまとめる中で浮き彫りになったのは、やはり「やりとり」そのものの減少と、「デジタル社会」化などに伴うやりとりの「質」の変容です。

■ 「やりとりの復活」を促す社会教育施設

そんな希薄化したやりとりの復活のために、社会教育委員が期待するのが、やりとりを自然に、あるいは意図的に促すようなソフト(事業)を持った社会教育施設です。図書館、社会教育センターなど、区内に多数ありますが、これら施設と施設、ソフトとソフトを有機的につなげていく努力が、人と人のやりとりの復活につながるのではないかと指摘します。

幸い、杉並区には実に数多くのNPOやボランティア、自主的学習サークルが存在する。全国的レベルで見ても、実に内容の濃い取組みも少なからずある。(中略)施設と施設、施設のソフトとソフトをつないでいけば、さらに期待できそうな事例も散見された。これら「点」の実践を「線」でつなぎ、そして「面」に広げていく…(報告書から)

社会教育委員の2年間の活動の成果であるこの報告書は、4月に教育長に提出されました。教育委員会はこの報告書をもとに、様々な機会を通じて「やりとり」の芽が出るよう種を蒔いていきます。

※報告書の全文は、教育委員会のホームページに掲載中です。身近な話題を取り上げており、読みやすくなっています。ぜひ一読を！

「やりとりの復活」は社会教育センターなどで行われている様々な事業の出発点であって、目的であると言えるかも知れません。ここでは、大人と子ども、子どもと子どもの「やりとり」の実践例を紹介します。

大人から学ぼう！ 「家庭学級」は大人同士の「やりとり」の場

親として、一人の大人として、「学んでみたい」「話してみたい」をカタチにする教育委員会共催事業の「家庭学級」。PTAや地域団体の方と一緒に、講座や懇談会などを開催することで一人ひとりの願いや思い、疑問や不安を分かち合う「やりとり」の場をつくっています。

同じ杉並の空の下、子どものため、地域のため、そして自分自身のため、様々なテーマで話したり考えたりすることを通して、相談したり助け合ったりできる関係をふくらませていきませんか？

「～したい」が実現できる！松ノ木小PTAの事例から

ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、宇宙への扉を開いたときから400年、今年は「世界天文年」と名づけられています。そこで、松ノ木小PTAの皆さんは自然科学をテーマに企画、地域の方に呼びかけ家庭学級を開きます。7月22日には日本やアジア地域で観察できる日食についての講演・観測会、そして11月には日本の折り紙と宇宙開発の関係についての講演を、宇宙航空研究開発のスペシャリストを招いて開催します。

「親も子ども、地域の方と一緒に学ぶ場」をきっかけに、松ノ木小とその地域の皆さんが、地域での交流「やりとり」を図っていくのです。

私もやってみたい！

そう思ったら社会教育センターへご相談ください。具体的な内容についてご説明いたします。

問合せ：社会教育センター ☎3317-6621

外国人学生との「やりとり」を通じて… 「ユネスコ教室」で磨け！国際感覚！

集まれ！
中学生！

外国人学生との交流体験を中心とした宿泊キャンプ(3泊4日)を含む、約一週間の学習プログラム。はじめは緊張気味の参加者も、青年部の高校生・大学生が企画する楽しいプログラムを通じて、日に日に文化を越えた友情を育んでいきます！ **締切迫る！**

【開催期間】7月31日(金)～8月8日(土) 宿泊学習は8月2日(日)～8月5日(水) (詳しい日程はお問合せください。)

【対象】区内在住・在学の中学生および小学6年生

【定員】60名(先着)

【場所】国立那須甲子青少年自然の家(福島県西白河郡西郷村)、セッション杉並ほか

【参加費】2万円

【申込方法】はがき・FAX・メールにて行事名(ユネスコ教室)・住所・氏名(フリガナ)・年齢・性別・電話番号・学校名・学年を書いて社会教育センターへお申込ください。

【主催】杉並ユネスコ協会

◎社会教育センター：(郵送)〒166-0011 杉並区梅里1-22-32

(メール) shakyo-c@city.suginami.lg.jp

(FAX) 3317-6620



0ペーン知る

民間ユネスコ運動の日(※)・講演会「カンボジアと世界遺産～アンコール遺跡について」

世界遺産、アンコール遺跡の調査・発掘に長年携わってきた、上智大学外国語学部アジア文化研究室准教授、丸井雅子氏の講演と、カンボジアスタディツアーに参加し、実際に現地を見聞してきた杉並ユネスコ協会青年部の報告会を開催します。
日時：7月19日 場所：セッション杉並2階視聴覚室 定員：80名(申込多数の場合抽選) 参加費：無料 申込み：FAX・はがき・メールにて、住所・氏名(フリガナ)・連絡先を明記のうえ、社会教育センターへ(上記) 〆切：7月12日 主催：杉並ユネスコ協会 ※日本ユネスコ協会では、世界で最初の民間ユネスコ協会が日本で設置された7月19日を「民間ユネスコ運動の日」と定めています。





っるっる ひかひか きもちいい
はみがきしゅっしゅ たのしいな

「歯の衛生に関する作品募集事業」(杉並区歯科医師会・杉並区学校歯科医会主催)は、歯の衛生週間(6月4日~10日)に合わせて毎年実施されています。今年も区立小・中学校の児童・生徒から2,386点の作品が寄せられ、6月27日(土)にはセッション杉並で優秀作品の表彰式が行われました。元気よく歯磨きしている姿が浮かぶような上の標語を書いたのは、松庵小1年生、青柳祐輝さんです。(金賞)



松庵小4年生、五月女瑞希さんは、標語とポスターの融合に挑戦してくれました。(区長賞)



右の子みたいには・・なりたくないよね?
四宮小2年生、朝日向帆々子さんの作品。(会長賞)



虫歯の怖さを印象的なデザインで表した
井荻中2年、鳥飼嘉泉さん。(会長賞)

そのほかの入賞者のみなさん

標語

- 金賞 杉並第一小2年 宮内そらさん 松庵小4年 村上麻帆子さん
- 高井戸第四小5年 安田有希さん 松庵小5年 中田大地さん
- 富士見丘中2年 加藤ゆいあさん 富士見丘中2年 中山貴幸さん
- 泉南中3年 重原朱里さん

銀賞 11名(小学生6名、中学生5名)

銅賞 14名(小学生6名、中学生8名)

図画・ポスター

- 金賞 松庵小1年 五月女彩寧さん 杉並第十小3年 中村壱晟さん
- 桃井第一小5年 有坂はなさん 中瀬中3年 三田麻優子さん

銀賞 7名(小学生6名、中学生1名)

銅賞 10名(小学生9名、中学生1名)

作文

- 金賞 永福小6年 野村美沙希さん

ご紹介した標語一作品と、ポスター三作品は、杉並区代表作品として、東京都歯科医師会実施の「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」、「歯・口の健康啓発標語コンクール」に出品されます!

みんなも歯を大切にしようね!



済美小学校では、毎日給食のあと、みんなで元気に歯を磨いているよ!

学校図書館を全力サポート!

平成21年度の教育委員会重点事業「学校図書館の充実」に基づき、4月に済美教育センターに学校図書館支援担当「学校図書館サポートデスク」を新設しました。学校図書館の運営、教科での図書や図書館の活用等について、先生方や学校図書館を支えるPTA、地域の皆さんからの相談に応じていきます。スタッフは、職員1名(司書)、支援員2名(元司書教諭)、認定講師(教員)の4名です。どうぞお気軽にご相談ください。

○支援内容

- ・電話相談
- ・学校訪問によるアドバイス
- ・研究授業、校内研修
- ・センター教育図書館資料によるレファレンス(調査相談)



学校図書館で授業中。(天沼小学校)

問合せ:
済美教育センター
学校図書館サポートデスク(支援担当)
電話: 3311-0021(代表)

教育委員会の動き 21年3月~21年5月

【教育委員会開催状況】

- ・定例会 6回
- ・臨時会 2回
- ・議案 43件
- ・報告事項 28件

【主な案件】 ◎は審議、○は報告事項

- ◎ 平成20年度杉並区指定・登録文化財について
- 杉並区立井草中学校校舎改築検討協議会報告について
- 学校図書館の充実について
- 小学校理科教育の振興について
- 杉並区小中一貫教育検討会の「検討報告」と今後の進め方について
- 平成21年度学校適正配置検討対象校と今後の進め方について
- 杉並区特別支援教育推進計画(平成21・22年度)の策定について
- 新型インフルエンザへの対応状況について
- 「杉並区中学生レスキュー隊活動指針」の策定について

☞ 太陽が月にかくれるのが日食なんだ。 7月22日 日食観察会

もちろん、科学館でも日食観察会が行われますよ。科学館スタッフのもと、遮光板や太陽投影板を使って安全に部分日食を観察することができます。東京では皆既日食とはならず、部分日食の観察となりますが、他の地域での日食の様子もインターネット中継で観察する予定です。午前9時45分から12時30分まで自由に参加できます(食の時間は9時55分ごろから12時30分ごろまで)ので皆さんお気軽にお越しください。あとは当日晴れてくれるよう空にお願い!

※太陽を誤った方法で観察するのは失明・負傷するおそれがあり大変危険です。ご自宅などで日食を観察される方で、正しい方法が分からない場合は科学館にお問い合わせください。 問合せ: 科学館 ☎ 3396-4391

●再生紙を使用しています